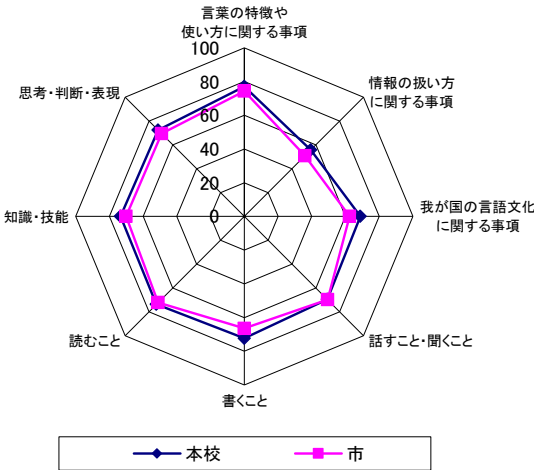


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	77.0	74.3	74.8
	情報の扱い方に関する事項	55.7	50.9	48.4
	我が国の言語文化に関する事項	68.9	62.4	60.8
	話すこと・聞くこと	69.7	69.9	69.7
	書くこと	72.3	66.4	64.6
	読むこと	73.8	72.3	71.0
観点別	知識・技能	73.4	70.1	70.0
	思考・判断・表現	72.3	69.5	68.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	市の平均正答率を2.7ポイント上回っている。 ○漢字の読みや書きの正答率が高い。 ●設問でみると、送り仮名付きの漢字の書きの正答率が低い。 ●敬語についての理解が十分でないため正答率が低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字の読み書きを学習する際、言葉の使い方を意識しながら練習させる。 ・特に正答率の低かった敬語の使い分けについて日常場面と結び付けるなどして指導を重点化する。
情報の扱い方 に関する事項	市の平均正答率を5ポイント近く上回っている。 ○文章の情報を整理することはできている。 ●情報と情報との関係について理解し、目的に応じて文章を簡潔に書く力が十分とは言えない。	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んで、自分が伝えたいことを明確にできるように指導する。
我が国の言語文化 に関する事項	市の平均正答率を6.5ポイント上回っている。 ○漢字の由来について理解することができている。	・引き続き漢字に興味を持たせ、由来についても触れながら指導にあたる。
話すこと・聞くこと	記述問題が市の平均正答率を2.4ポイント下回っている。 ●感染症対策等の影響もあり、自分の意見や考えを発表・話し合う機会が少ない傾向にあった。	・互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合えるよう題材や学習形態を工夫する。
書くこと	どの設問も市の平均正答率を上回っている。 ○「指定された長さで文章を書くこと」「グラフから読み取った事実を書くこと」が10ポイント程度上回っている。	・引き続き情報を読み取って考え、自分の意見を文章にする機会を設けるようにする。
読むこと	市の平均正答率を1.3ポイント上回っている。 ○文章を読み、その大体の内容を的確に捉えられることができている。 ●文章の構成を捉えるための指示語に着目することがやや苦手であることがうかがえる。	・内容を整理しながら読めるように目的を明確にした単元展開をする。 ・語彙力を高め、文章のつながりに気付けるよう、多様な本や文章を読む機会を確保する。 ・指示語や接続詞による段落分けを学習できる説明文などの教材に触れる機会を増やす。